

保護者様

川崎市立川中島小学校

校長 堀江 広志

川中島コミュニティ学校運営協議会会長 二本柳 直次郎

学校評価アンケート結果について

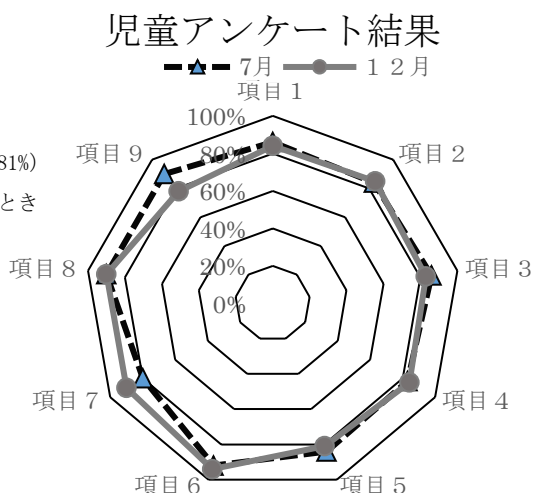
寒さ厳しい中にも、光に輝きを感じる季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝いたします。さて、今年度学校評価アンケートを7月と12月の2回実施させていただきました。今後も、アンケートの結果を真摯に受け止め、川中島コミュニティ学校運営協議会一同、益々の努力・改善を重ね「子どもが主役」の学校づくりに励んでまいります。今後ともご支援とご協力の程よろしくお願いたします。

%は、⑤「とてもよい」・④「よい」の合計の値です。

児童アンケート () 内数字 (7月アンケート数値→12月アンケート数値)

- 項目1 学校は楽しいですか。(86%→84%)
- 項目2 学習や当番、委員会活動等で、自分の方を發揮していますか。(84%→85%)
- 項目3 学校の読み聞かせや読書の時間が好きですか。(86%→83%)
- 項目4 自分から進んで挨拶をしていますか。(83%→84%)
- 項目5 なかよし班で他学年の友達とも楽しく、充実した活動をしていますか。(84%→81%)
- 項目6 学校でも交通安全の学習をしていますが、歩いているとき自転車に乗っているとき交通ルールを守っていますか。(92%→94%)
- 項目7 川中島小学校では、先生のほかに地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。(80%→90%)
- 項目8 進んで学校をきれいにしていますか。(90%→90%)
- 項目9 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(90%→78%)

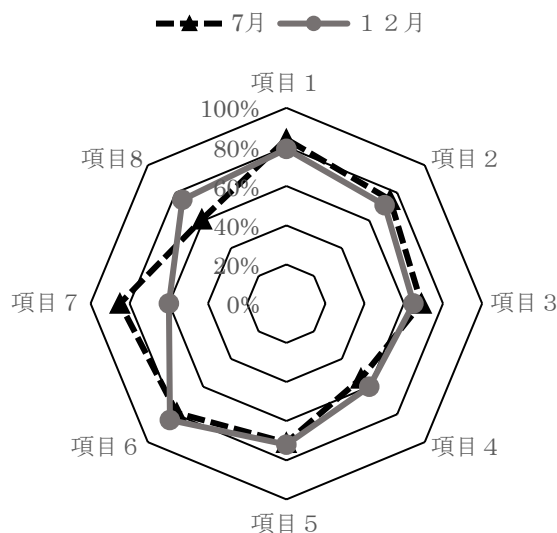
児童アンケート結果



保護者アンケート

- 項目1 お子さんは、学校が楽しいと思っていますか。(84%→79%)
- 項目2 お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思いますか。(75%→71%)
- 項目3 お子さんは、読み聞かせや読書の時間が好きになりましたか。(69%→65%)
- 項目4 お子さんは、自分から進んで挨拶ができていると思いますか。(54%→60%)
- 項目5 お子さんは、他学年の児童とも楽しく充実した活動をしていると思いますか。(71%→72%)
- 項目6 交通ルールを守っていますか。(79%→84%)
- 項目7 川中島小学校はコミュニティスクールです。コミュニティ委員や地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。(85%→60%)
- 項目8 お子さんは、進んで学習に取り組んでいますか。(61%→75%)

保護者アンケート結果



項目1 (児童アンケート) 学校は楽しいですか。(86%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは、学校が楽しいと思っ

自己評価 児童、保護者ともに良い評価が7割以上を占め、学校生活を楽しく過ごせていることが分かります。今年度もコロナ禍で、様々な制限がありましたが、その中でもできることを考え、楽しみを見つけていたように思います。児童の全員が『学校が楽しい』と思っ

学校関係者評価 普段の登下校や学校生活でも、子どもたちが楽しそうに過ごしている様子がうかがえます。コロナの影響で行えなかった活動が、先生方や地域の方々の協力もあり少しずつ戻ってきたことで、多くの子どもたちが学校が楽しいと感じる機会が増えてきたと思

項目2 (児童アンケート) 学習や当番、委員会活動等で、自分の力を発揮していますか。(84%→85%)

(保護者アンケート) お子さんは、自信をもって学校生活を送っていると思っ

自己評価 自分の力を発揮し、自信をもって生活を送っていることが分かりました。児童・保護者ともに良い評価が7割以上占めています。昨年度より行える活動や行事が増えたため、子ども一人ひとりに活躍の場があり、成長できたことをうれしく思っ

学校関係者評価 ウィズコロナの下、児童の自主的な活動をどう計画し実施していくのか難しさがあると考えられますが、子どもたちはあまり影響を受けることなく、自分たちの活動に自信をもってのように、アンケートではうかがえます。それは、健康・安全面に配慮しながら、教育活動を工夫している教職員のおかげだと思っ

項目3 (児童アンケート) 学校の読み聞かせや読書の時間が好きですか。(86%→83%)

(保護者アンケート) お子さんは、読み聞かせや読書の時間が好きになりましたか。(69%→65%)

自己評価 児童のアンケートからは、読書が好きなお子が多いということが読み取れます。理由としては、季節の装飾や辞書引き大会で、児童が図書室に入りやすくなっていることや、定期的な読み聞かせ(ボランティアさんによる)を行っていただいていることで、本を身近に感じることができているからだと思っ

学校関係者評価 読み聞かせの時間が好きな児童が多いことは図書ボランティアの方々の想いも届いているのだと思っ

項目4 (児童アンケート) 自分から進んで挨拶をしていますか。(83%→84%)

(保護者アンケート) お子さんは自分から進んで挨拶ができていると思いますか。(54%→60%)

自己評価 児童のおよそ8割は、自分から挨拶ができていると感じています。ただ、保護者アンケートでは、できていると回答された方が、児童アンケートの結果を下回っています。児童の手本になるように大人から家庭や学校で積極的に挨拶をし、進んで挨拶をする大切さを伝えていきたいと思ひます。

学校関係者評価 長期間マスク着用をしているなか相手の表情を捉えづらいこともあると思ひますが、アンケートでは多くの児童が自分から進んであいさつができていると意識していることがうかがえます。あいさつを躊躇してしまふ児童にも大人から働きかけをすることで、自分からあいさつすることに自信がもて積極的にできるのではないでしようか。

項目5 (児童アンケート) なかよし班で他学年の友達とも楽しく、充実した活動をしていますか。

(84%→81%)

(保護者アンケート) お子さんは、他学年児童とも楽しく充実した活動をしていると思ひますか。

(71%→72%)

自己評価 なかよし班活動では、全学年をそれぞれ組み合わせる小さなグループを作つて活動しています。なかよし班が同じというきっかけから仲良くなり、交友関係が広がっているように感じます。高学年は遊びを計画して活動を進めることで自信をつけてきています。また、低学年は高学年の活動の仕方を見て、楽しみながら活動しています。それぞれがいい刺激を受け新たな学びを得ているようにも感じられます。

学校関係者評価 自由記述では、低学年からは感謝の気持ちが多くあり、また中・高学年からは「他学年交流のおかげで自信を持てるようになった。」とありました。全体として継続を望む記述が増えました。今年度もコロナ感染対策のために制約がありましたが、高評価に繋がった先生方の指導に感謝したいと思ひます。

項目6 (児童アンケート) 学校でも交通安全の学習をしていますか、歩いているとき自転車に乗っているときに交通ルールを守っていますか。(92%→94%)

(保護者アンケート) 交通ルールを守っていますか。(79%→84%)

自己評価 日頃の学級指導や長期休業前の指導を通して、子どもたちが安全に生活できるような取り組みを行っています。また、1年生と3年生においては、毎年交通安全教室を開催しています。アンケートでは、交通ルールを守っていると答えた児童が94%と非常に高い評価でした。一方で、大人の目から見ると注意が足りない状況も多くあるようです。引き続き、交通安全について呼びかけ・指導を行うとともに、登下校時には見守り活動の方々にもご協力いただいて事故防止に努めてまいります。

学校関係者評価 第2回アンケートでの「⑤よくもっている」という回答に注目しますと、児童が58.5%であるのに対して保護者は26.0%であり、子どもと大人の認識に大きなギャップがあることが分かります。下校時には歩道橋を使わずに道路を渡ってしまう子もいると聞きますし、大人の目線から見たときのヒヤリハット(ヒヤリ・ハット)な場面の積み重ねが、このギャップに現れていると思ひられます。実際の事故に繋がらないよう、ヒヤリハットの中身を見極め、今後も地域や保護者との連携をよろしく願ひいたします。

項目7 (児童アンケート) 川中島小学校では先生のほかに地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。

(80%→90%)

(保護者アンケート) 川中島小学校ではコミュニティスクールです。コミュニティ委員や地域の人が学習や学校生活のサポートをしていることを知っていますか。

(85%→60%)

自己評価 今年度も各学年が様々な場面で地域の方々のサポートを受けながら、豊かに学びを進めています。校内でのコミュニケーションがきっかけとなり、町の中での地域の方々と関わりの基盤となっています。今回のアンケートでは、児童は地域の方々と繋がりを感じながら生活していることがうかがえますが、保護者の皆さんにその様子が伝わり辛いことが読み取れます。今後は学年だより等で、地域の方々と豊かな交流を保護者の皆さんにお伝えしていきたいと考えます。

学校関係者評価 後期のアンケートではコミュニティ委員の活動が保護者の方々にはあまり伝わっていないのを感じ残念に思いました。下校指導や運動会などがあった前期に比べ、後期はコミュニティのオレンジビブスを直接目にする機会がほとんどなかったからかもしれません。私たちの活動は今後もホームページやコミュニティだよりなどで発信していきます。

項目8 (児童アンケート) 進んで学校をきれいにしていますか。(90%→90%)

自己評価 9割の子どもたちが掃除に対して好ましい思いをもっていることが分かりました。それぞれが自分の仕事をしっかり行い、教室や廊下をきれいにしようと取り組んでいる姿が見られます。「みんなで掃除をして教室がきれいになると気持ちがいい。」という声が聞かれました。掃除時間だけでなく、普段から自分の身の回りの環境を進んで整えることを意識できるようにしていきたいと思います。

学校関係者評価 掃除の時間自体は短いですが、週替りで担当場所が変わるなどの工夫により、効率よく掃除が進められる仕組みができています。掃除を毎日行うことで教室や廊下がきれいに保たれていることにとどまらず、普段から整理整頓を心がけることが子どもたちに根付いていくことにより、色々なことが効率的にできるようになっていけばありがたいと思います。

項目9 (児童アンケート) 授業の中で「できた」「わかった」と思うことはありますか。(90%→78%)

項目8 (保護者アンケート) お子さんは進んで学習に取り組んでいますか。(61%→75%)

自己評価 後期に進むにつれ、身につけた力を応用することが求められます。前期に比べ「できた。わかった。」という達成感を感じている児童が少なくなっている理由の1つだと考えます。ただアンケートから子どもたちは学校や家庭において進んで学習に取り組むことができていることが分かります。学校では、その姿勢が結果として表れるように、一人ひとりの実態を把握し、子どもの確かな学力の向上につながるよう努力をしていきます。

学校関係者評価 後期になり学習が難しくなっていくからか、毎年、児童の2回目アンケートの結果は下回ります。でも今回、保護者のアンケートでは上回る結果となり、学習が難しくなることで家庭での学習を頑張る姿が垣間見え嬉しく思いました。学校では1・2年生のニコニコ学習や3～6年生の少人数学習など、学力向上に努めてくれます。先生方の努力が実り、子どもたちの「できた。わかった。」の笑顔の花が満開になることを願います。